

# 広南中学校区 カリキュラムマップ

- 夢を持ち、夢を語り、志を抱き、その実現に向けて挑戦する児童生徒
- 時を守り、場を清め、礼を正し、学びを求める児童生徒
- 自ら課題を見つけ、その解決に向けて、常に努力し続ける児童生徒

## 目指す児童生徒像

### 1 「育成を目指す資質・能力」の具体の姿

	知識・技能	情報収集・判断	思考・表現	協力・協働	感謝・貢献	責任・使命	挑戦・探究
後期	課題解決に必要な知識や技能を習得し、活用することができる。	尋ねたり、調べたり、試したりして、必要なものを見つけ、選ぶことができる。	しっかり考えて、学びを自分のものにして表現することができる。	他の人と協力し、いろいろな意見やそれぞれの力を生かすことができる。	感謝の心を持って、自分なりに貢献することができる。	自分の役割や使命を考え、すべきことを行うことができる。	夢を持ち、疑問やできないことを大切にし、見通しを持って粘り強く学び続けることができる。
中期							
前期							

### 2 カリキュラムマップ作成にあたり、発達段階ごとに大切にしたい視点

	大切にしたい視点	総合的な学習の時間、各教科等の特徴的な配列や重視した取組等
後期	協働的・創造的に 行う学びを通して 志を抱く	9年生では、各教科の学習内容や地域の防災の取組を生かして、防災をテーマにした創作劇を、地域の人との協働で行うことにより、社会貢献の志を持たせる。 8年生では、技術・家庭科（技術分野）で習得したプレゼンの技能を活用し仕事に関するプレゼン発表で仕事観を深める。また、「起業プロジェクト」により社会や地域に主体的に関わろうとする態度を身に付けさせ、職業的自立に向けて志を持たせる。
中期	協働して習得・活用する学びを通して夢を語る	7年生では、国語科と関連した「魅力的な生き方探し」で、生き方の視野を広げる活動を行う。また、落語を習得し、出前寄席を通じた貢献活動を行い、英語で日本文化を紹介する授業につなげる。 6年生では、国語科で学んだことを活用し、地域の課題を捉えさせる。これからの将来、ふるさと広南を「人と人がつながる町」にするために、何をしていけばよいかをグループごとで考え、プレゼンテーションによる発表を行い、意見を交流させる。 5年生では、地域の現状や災害、防災について学んだことをもとに、課題に気付かせる。地域を災害から守るために自分達ができることを考えさせ、新聞にまとめ、交流させる。
前期	協働して習得する学びを通して夢を持つ	4年生では、社会科に関連させて、従来は捨ててしまっていた野菜くずを熟成させる肥料づくりが、ゴミの軽減につながることに気付かせる。その肥料を施した土で野菜を育て、収穫した作物を使いお世話になっている方への感謝の気持ちを表す会を企画し実行する。 3年生では、道徳科で、地域の伝統文化である小坪神楽を大切にしてきた先人の努力や心情を取り上げ、郷土のよさを実感させる。そこで学んだこととふるさと学習を関連させ、2年生に伝えさせる。

### 3 本中学校区のカリキュラムマップの特徴

- 志を抱き、準備をし、挑戦し、振り返ることで、次への志を抱くという「実社会における問題解決に向かう学びの課程」を意識した。
- 総合的な学習の時間で得た知識や技能を活用して、校外（実社会での貢献）での挑戦をゴールの場に位置付けている。
- 教科等、生活科・総合的な学習の時間、特別活動その他で記載されている単元や活動を色分けすることによって、何をねらった教育活動なのか視覚的に分かりやすくなっている。（緑⇒習得、青⇒活用、黄⇒探究）
- 特別活動において、各学期、学年末に「キャリアノート」を活用し、資質・能力を振り返る場面を設定している。